



# Index

Section **01** 2026年3月期（2025年度）業績ハイライト

Section **02** 2026年3月期 決算概況（2025年度実績）

Section **03** 2027年3月期 見通し（2026年度見通し）

Section **04** 2026年3月期 決算補足

# Index

Section **01** 2026年3月期（2025年度）業績ハイライト

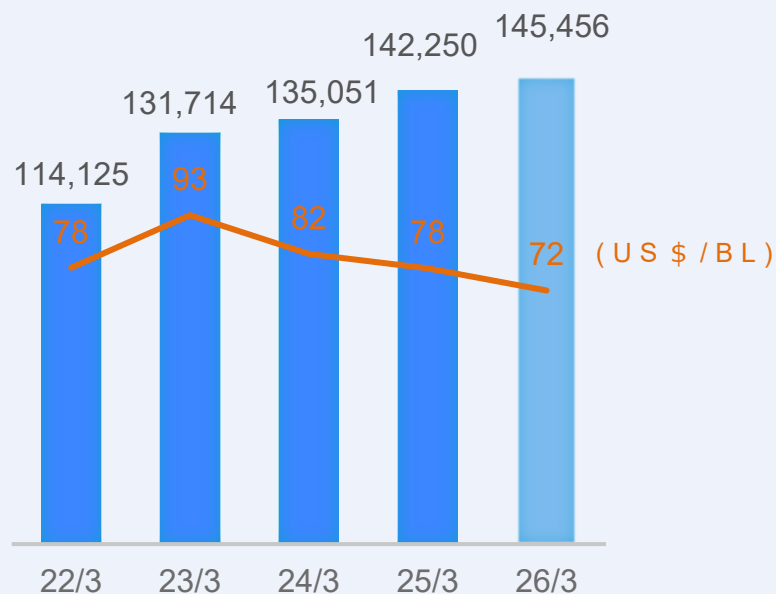
Section **02** 2026年3月期 決算概況（2025年度実績）

Section **03** 2027年3月期 見通し（2026年度見通し）

Section **04** 2026年3月期 決算補足

## 売上高

(百万円)

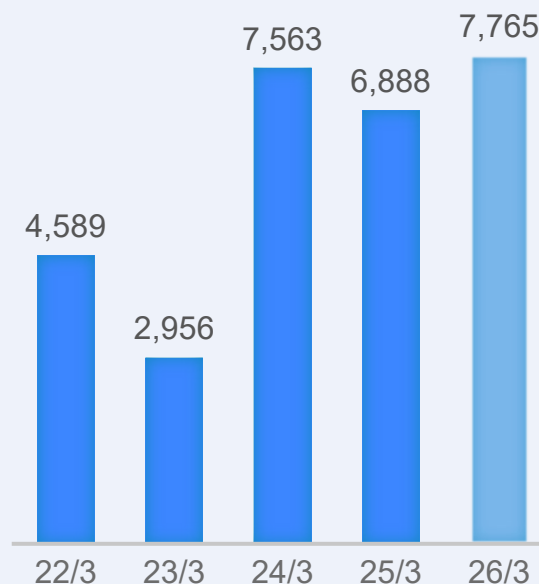


販売は前期並みとなりましたが、売上高は前年同期比2.3%の増加。

赤字はドバイ原油価格

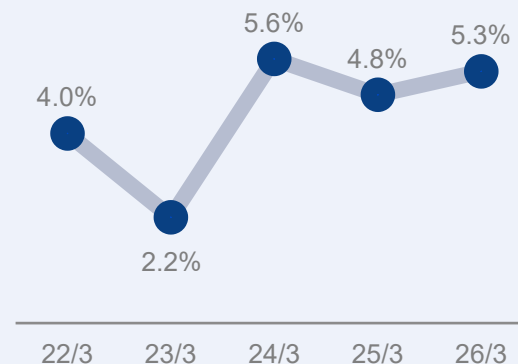
## 営業利益

(百万円)



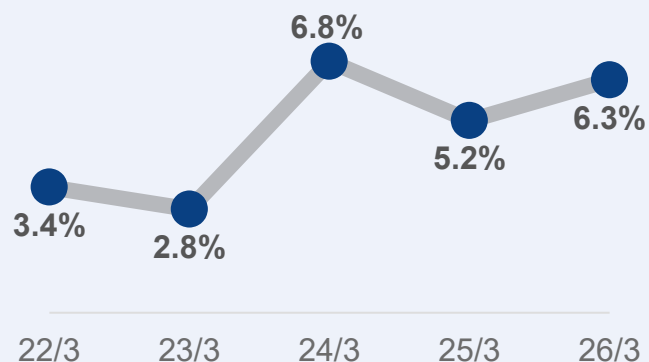
付加価値の高い製品が好調に推移したことにより、前年同期比12.7%の増加。

## 営業利益率



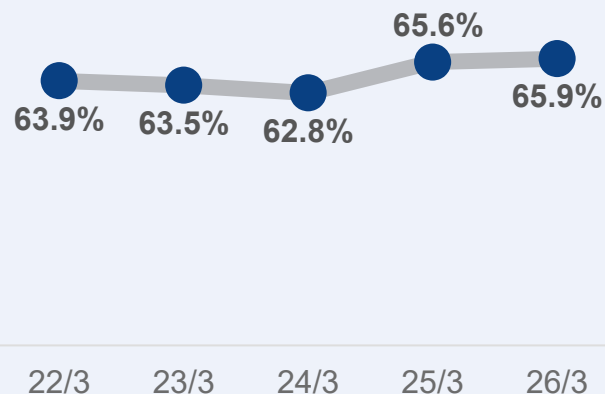
付加価値の高い製品の増加に伴い、収益性が改善。

## 自己資本利益率（ROE）



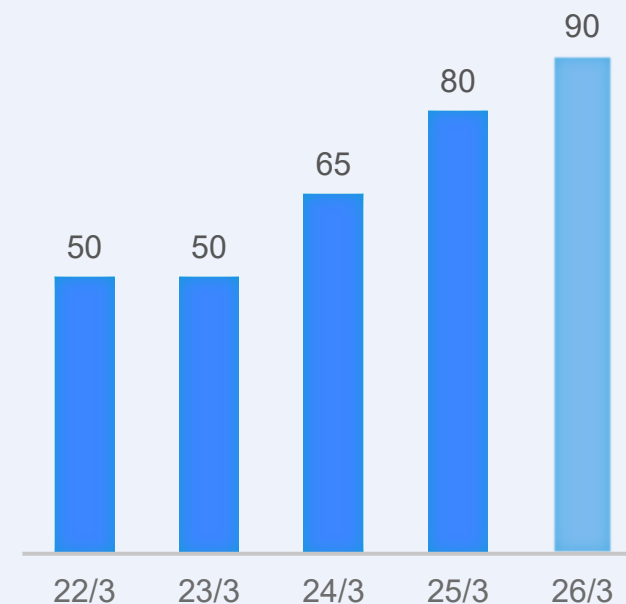
営業利益の増加や、特別利益の計上により、ROEは6.3%に増加。

## 自己資本比率



自己資本比率は横ばい。適正な資本構成に向けた財務運営を引き続き検討。

## 配当金（円/株）



2025年度は年間90円/株へ+10円/株の増配、2023年度より、3期連続の増配。

# Index

Section **01** 2026年3月期（2025年度）業績ハイライト

Section **02** 2026年3月期 決算概況（2025年度実績）

Section **03** 2027年3月期 見通し（2026年度見通し）

Section **04** 2026年3月期 決算補足

(単位：百万円)

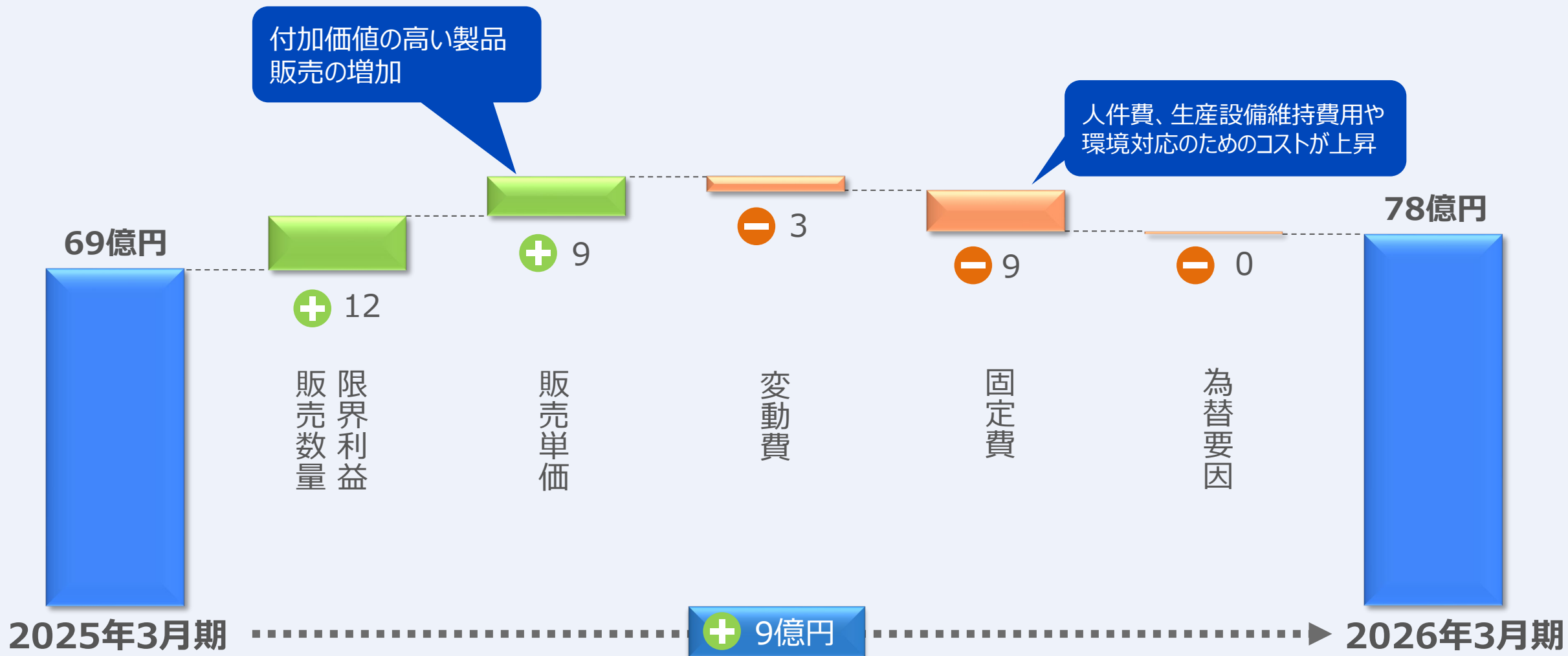
	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想 <sub>(1/30)</sub>	2026年3月期 実績	前年同期比	公表比
売上高	142,250	143,000	145,456	+ 2.3%	+ 1.7%
営業利益	6,888	7,000	7,765	+ 12.7%	+ 10.9%
経常利益	7,311	7,400	8,092	+ 10.7%	+ 9.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,066	5,800	6,602	+ 30.3%	+ 13.8%
1株当たりの配当金	80円 (年間)	90円 (年間)	90円 (年間)	+ 10円	-

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績
ドバイ原油 (USD/BL)	78	72
円/USD	152	150
円/EUR	164	170

- 世界経済：北米の通商政策動向や中東地域の緊迫化による地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況。
- 日本経済：金利上昇や為替変動が継続、中東情勢影響による景気の下振れリスクによる企業業績や雇用・所得環境が改善に足踏みがみられるものの、緩やかな回復基調。
- 国内業界：食品トレー向け分野での需要は減少傾向となり、水産分野向けでは販売需要回復の足踏み状態が継続し、物価上昇による影響もあり厳しい状況。
- 売上高：販売は前年同期並みとなりましたが、売上高は前年同期比2.3%の増加。
- 営業利益：付加価値の高い製品が好調に推移したことにより、前年比12.7%の増加。

# 営業利益の増減要因

(単位：億円)



# 押出事業（2026年3月期 実績）

（単位：百万円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前年同期比
売上高	49,385	49,550	+ 0.3%
営業利益	1,645	2,058	+ 25.1%

- 売上は前年同期並みとなりましたが、一般包材及び建築・住宅分野向けの付加価値の高い製品が好調に推移したことにより、営業利益は増加しました。

## 食品包材・容器



「スチレンペーパー」



「ミラボード®」

- 広告宣伝用ディスプレイ材「ミラボード」の販売は前年同期並みとなりましたが、食品トレー向け分野の販売は減少したことから売上は減少。

## 産業用包装材



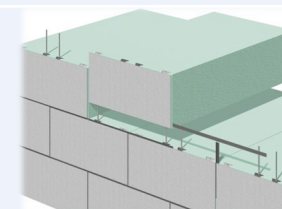
「ミラマット®」  
「キャプロン®」  
「Pボード」

- 付加価値の高い製品及び汎用製品の販売は減少しましたが、一般包材が好調に推移したことから売上は増加。

## 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム®」



「J-ウォールブロック」

- 建築・住宅分野向けのミラフォームラムダやプレカット品などの付加価値の高い製品の販売割合が増加したことや、土木分野向けの販売は増加したことから売上は増加。

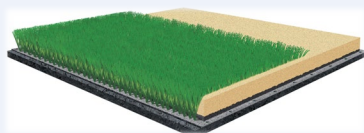
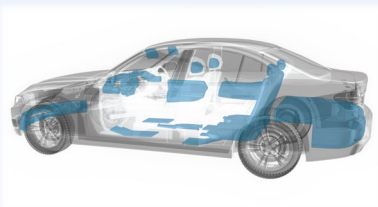
# ビーズ事業（2026年3月期 実績）

（単位：百万円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前年同期比
売上高	92,865	95,905	+ 3.3%
営業利益	6,373	6,633	+ 4.1%

- 自動車分野及び非自動車分野ともに販売は増加したことから売上は増加。
- 高機能材製品の販売増加や、固定費の削減などにより増益。

## 自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ARPRO®」  
「エレンポール® NEO」  
「COREDUAL®」

- 北米では、競技用グラウンド基礎緩衝材などの一部の非自動車分野は前年同期並みも、自動車分野の販売は増加。
- 欧州は、HVAC向けは需要回復の遅れ、自動車分野もリサイクル原料を使用した製品の販売が増加したが、前年同期並み。
- 中国及び台湾では、包装材分野が好調。

## 発泡性ポリスチレン

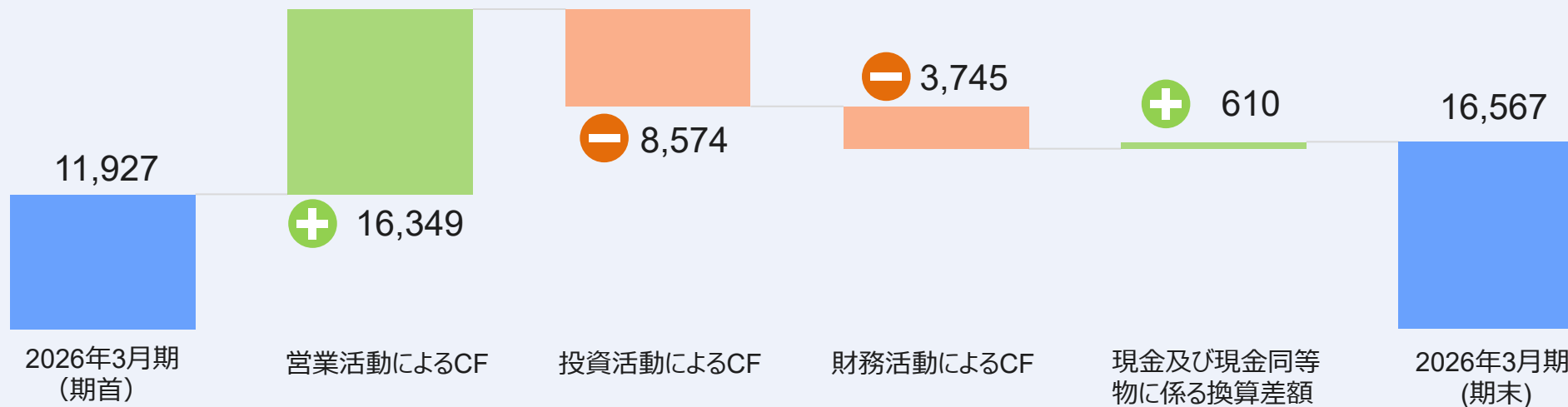


「スチロダイア®」  
「ヒートポール® GR」  
「クリアポール®」

- 水産分野などでの需要の影響により販売が減少したことから売上は減少。

## 【キャッシュフロー】

(単位：百万円)



## 【設備投資額・減価償却費・研究開発費】

	2025年3月期	2026年3月期
設備投資額	8,147	10,359
減価償却費	7,843	8,124
研究開発費	2,557	2,490

※ 設備投資額はキャッシュベースです。

# Index

Section **01** 2026年3月期（2025年度）業績ハイライト

Section **02** 2026年3月期 決算概況（2025年度実績）

Section **03** 2027年3月期 見通し（2026年度見通し）

Section **04** 2026年3月期 決算補足

## 業績予想について

- ▶ 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ▶ 市場動向や原材料・エネルギー価格の推移を踏まえ、サプライチェーンについては、重大な供給制約や物流混乱が発生しない前提のもと、算定しております。

※当社の事業年度は、

国内は4月1日～3月31日、海外においては1月1日～12月31日となります。

## 国内

- 原材料は、年間を通して必要な量が**供給される前提**。
- 原材料購入価格は、**基本的には高止まりする前提**。
- 販売単価は、ある程度**価格転嫁できる前提**。
- 販売量は、**物価高騰による需要減を一定量見込む**。

## 海外

- 原材料は、需要に応じた量が**供給される前提**。
- 原材料購入価格は、**各地域の実情に対応している**。
- 販売単価は、**従来 of 価格転嫁の方式**を取る前提。
- 販売数量は、第2四半期以降は**ほぼ各地域の実需要ベース**。

## 想定される リスク

- 原料・エネルギー価格のさらなる上昇。
- 販売価格転嫁が十分にできない恐れや、遅れるリスク。
- 需要減少の拡大。
- 地政学・物流環境の変化。

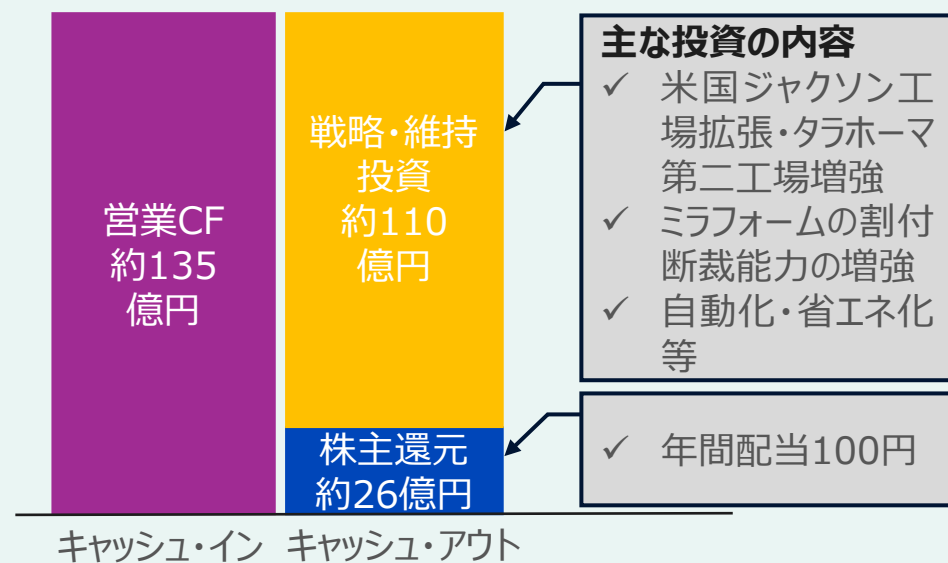
# 2027年3月期見通し

(単位：百万円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	前年同期比
売上高	145,456	164,000	+ 12.7%
営業利益	7,765	7,000	- 9.9%
経常利益	8,092	7,200	- 11.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,602	5,000	- 24.3%
自己資本利益率 (ROE)	6.3%	4.6%	- 1.7pt.
1株当たりの配当金 (予想)	90円 (年間)	100円 (年間)	+ 10円
ドバイ原油 (USD/BL)	72	90~100	
為替レート (円/USD)	150	160	

## 今後の見通し

建築・住宅用断熱材および自動車部品を中心に、需要動向の見通しが不透明な状況にあります。  
 また、主要国・地域においては、原料価格やエネルギーコスト、人件費を中心とした固定費の上昇が続いており、主に国内では物価高騰による需要の減少が収益を下押しする要因となっております。  
 当社グループは、コスト上昇について適時かつ適正な価格転嫁を行うとともに、業務効率化の推進により、安定供給と収益性の確保に努めてまいります。あわせて、資本・財務戦略の着実な推進及びサステナビリティ経営への取り組みを進めてまいります。

## キャピタルアロケーション予想

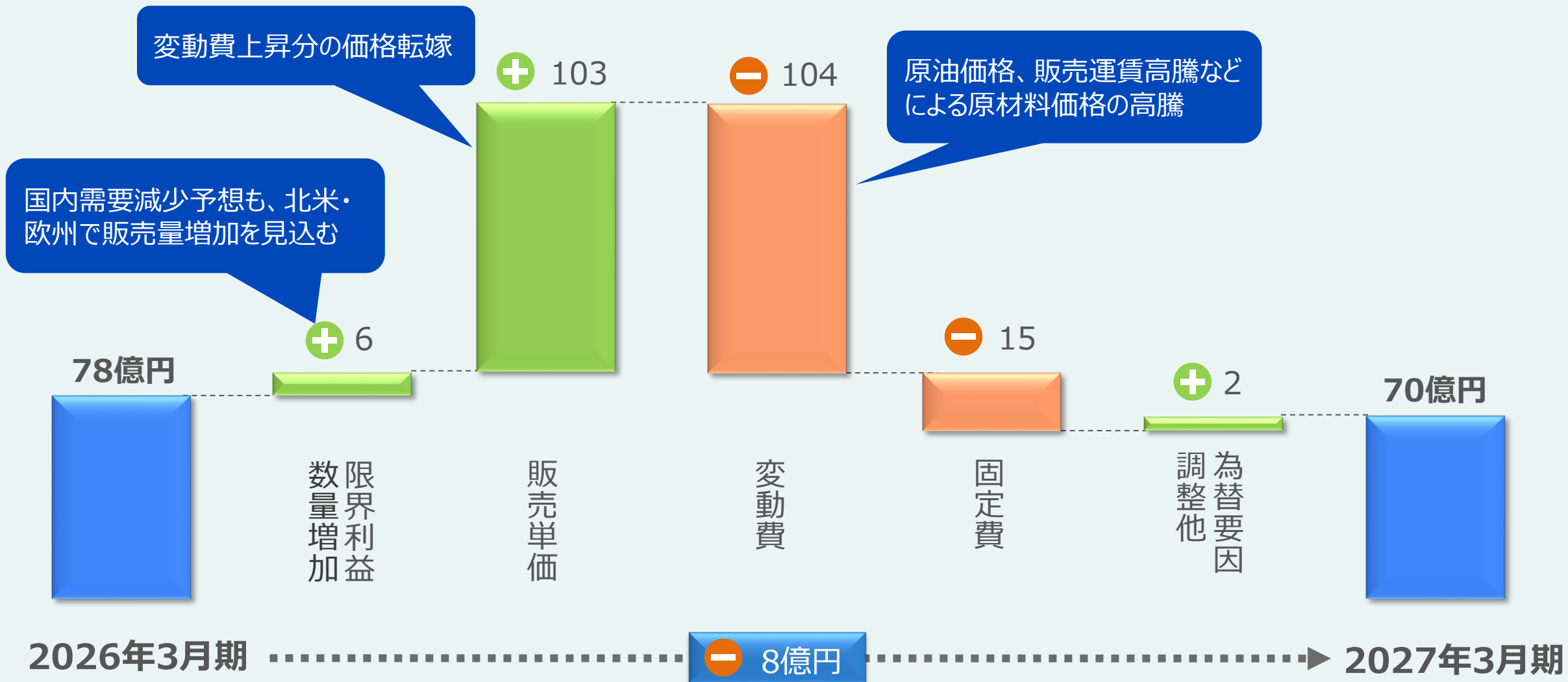


- 主な投資の内容**
- ✓ 米国ジャクソン工場拡張・タラホーム第二工場増強
  - ✓ ミラフォームの割付断裁能力の増強
  - ✓ 自動化・省エネ化等

- ✓ 年間配当100円

# 営業利益の増減要因

(単位：億円)



(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	前年同期比
売上高	49,550	52,000	+ 4.9%
営業利益	2,058	1,200	- 41.7%

- 売上高は生活資材製品やFPD用表面保護材の需要は堅調に推移する予測です、一般包材分野や建築・住宅分野向け断熱材は物価高騰による需要の減少を見込む。
- 利益面では、主に物価高騰による需要の減少により前期を下回る見込み。

## 食品包材・容器



「スチレンパー」



「ミラボード®」

- 食品向け製品などは、業界特性的に需要が大きく落ち込まない想定も、物価高騰などによる、消費動向の変化により減少見込み。

## 産業用包装材



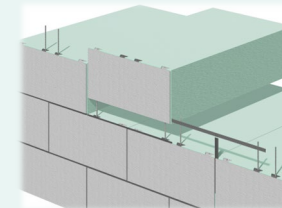
「ミラマット®」  
「キャプロン®」  
「Pボード」

- FPD向け製品の需要は堅調に推移する見込み、一般包材は製品需要が落ち込むと想定。

## 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム®」



「J-ウォールブロック」

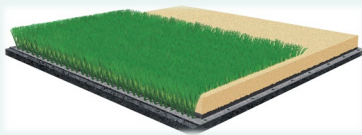
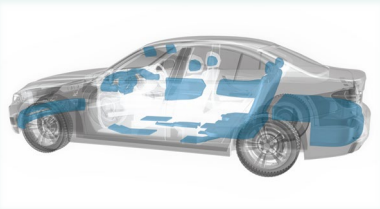
- 販売数量については、第1四半期の特需の反動と、建築コスト上昇による需要減の影響を織り込む。

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	前年同期比
売上高	95,905	112,000	+ 16.8%
営業利益	6,633	6,900	+ 4.0%

- 売上高については、主に「ARPRO®」を中心とした高機能材製品の販売増加に加え、製造コスト上昇を背景とした製品価格の改定により、増加する見込み。
- 利益面は、原料価格の高騰や労務費をはじめとする固定費の増加が見込まれるものの、事業全体では海外の販売数量の増加により、前期を上回る見込み。

## 自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ARPRO®」  
「エレンポール®NEO」  
「COREDUAL®」

- 国内販売数量は中東向けの自動車の輸出減の影響や、非自動車製品において主要顧客の減産・受注減の影響も想定される。国内は原材料・エネルギー等の価格高騰の影響が大きく、利益は前期を下回る見込み。
- 欧米では原料価格の上昇があるものの、販売は概ね好調に推移するものと予測。

## 発泡性ポリスチレン



「スチロダイア®」  
「ヒートポール®GR」  
「クリアポール®」

- 原料価格の高騰に伴うコスト上昇の反映や、関連する素材全般の価格上昇の影響により、水産分野などでの需要が減少し、販売は減少する見込み。

## 地域別 原料・販売動向

### 北米

原料：原材料の価格高騰により、一部フォーミュラ方式による価格転嫁。

販売：現時点で販売への影響なし。

### 欧州

原料：原材料価格の上昇。

販売：自動車向け販売シェアが拡大しており、販売は概ね好調に推移するものと予測。

### 中国

原料：主原料調達リスクは少ない。

販売：一時的な駆け込み需要の反動で減少も、第2四半期以降、包材用途を中心に好調な販売を見込む価格競争の激化懸念。

### 南米

原料：原材料価格高騰も、価格転嫁を見込む。

販売：自動車向け好調継続見込、販売、利益とも前年を上回る見込み。

### 台湾

原料：原材料調達に不透明感あり。



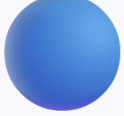






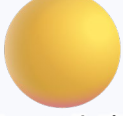


販売：包材用途を中心に比較的堅調な販売を見込む。

### アジア（中国、台湾を除く）

原料：原材料調達に不透明感あり。

販売：原料価格の上昇を背景とした価格競争の激化の懸念。

# 中期経営計画の利益目標進捗状況

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期見込
北米・南米	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 北米は通り函や競技用グラウンド基礎緩衝材などの非自動車分野が好調に推移。南米は自動車分野が好調</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 北米は、関税動向などによる自動車の一時的な生産調整や、新規車種の市場導入の遅れが影響するも堅調</li> <li>● 南米は、販売先工場の暴風雨による罹災による影響はあるも好調に推移</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2026年下期より新規車種の市場導入の予定、収益性の回復・向上に貢献する見込</li> <li>● メキシコ新工場の本格稼働、米国への設備投資により、上記の自動車分野の増産、非自動車分野の成長に対応</li> </ul>
欧州	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● HVAC需要の減少などにより販売数量が減少</li> <li>● 固定費の抑制等で計画並み</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 欧州市場の低迷などにより、自動車分野、HVAC分野共に需要回復遅れ</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一部市場・需要に回復の兆し、HVAC分野の回復を見込む。</li> </ul>
アジア	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国及び台湾において包装材分野が増加し好調に推移</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国及び台湾における包装材分野の更なる拡販などにより販売数量を伸ばし、好調に推移</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国のバッテリー向け包材や、台湾の電子部品向け包材などの拡販が引き続き好調に推移する見通しも、競争の激化による収益懸念</li> </ul>
日本	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響</li> <li>● 産業資材製品・土木分野向けの落ち込み</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築・住宅分野での付加価値品の高い製品の販売が好調に推移</li> <li>● 新規車種の市場導入遅れなどにより販売減少</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● FPD分野は、FPD市場の成長に比べて伸びが鈍化。サプライチェーンにおける供給範囲の拡大に向けた取り組みを強化し拡販を目指す</li> </ul>

● 非常に好調 ● 計画並み ● 計画未達

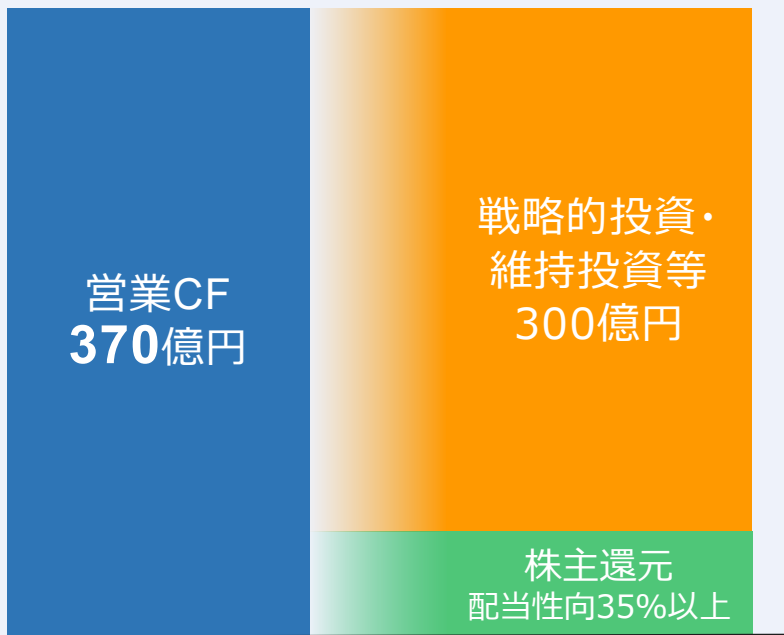
2027年3月期 見通し (2026年度見通し)



営業キャッシュ・フローをベースに、収益性強化を目的とした戦略的投資を実施。  
ARPRO® 事業の増産・合理化投資に注力し、収益の最大化を図ります。  
キャピタルアロケーションは概ね計画通り推移しています。

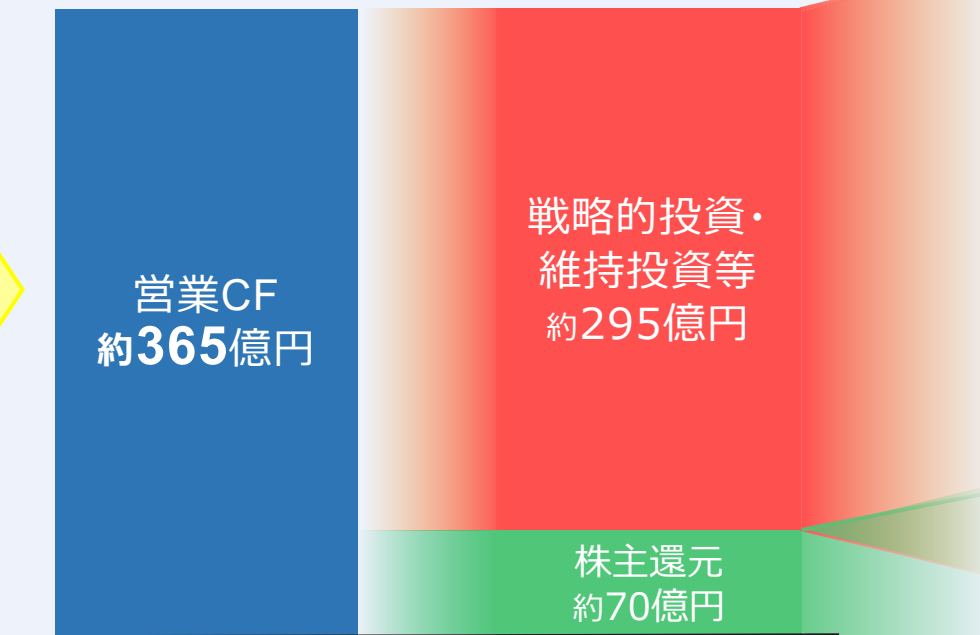
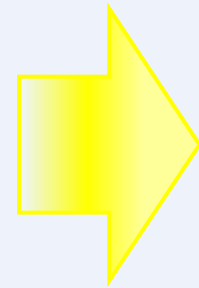
中期経営計画 2025年3月期～2027年3月期

2025年3月期～2026年3月期実績 及び  
2027年3月期見通しの累計



キャッシュ・イン

キャッシュ・アウト



キャッシュ・イン

キャッシュ・アウト

## 戦略的/維持投資等

- ①新工場  
インド プネ工場  
メキシコ ラモスアリスぺ工場
- ②増産投資  
北米ジャクソン、バトラー、  
タラホーム2 など
- ③生産設備最適化

## 株主還元

4期連続で増配を予定し  
株主還元を強化

# Index

Section **01** 2026年3月期（2025年度）業績ハイライト

Section **02** 2026年3月期 決算概況（2025年度実績）

Section **03** 2027年3月期 見通し（2026年度見通し）

Section **04** 2026年3月期 決算補足

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期
売上高	142,250	145,456
営業利益	6,888	7,765
経常利益	7,311	8,092
親会社株主に帰属する当期純利益	5,066	6,602
包括利益	7,918	9,831

	2025年3月期	2026年3月期
1株当たり当期純利益	193円31銭	251円92銭
売上高営業利益率	4.8%	5.3%

【主要な日本円への換算レート（1～12月）】

	2025年3月期	2026年3月期
円/USD	152	150
円/EUR	164	170
円/RMB	21	21

# 営業外損益・特別損益

(単位：百万円)

営業外損益	2025年3月期	2026年3月期
受取利息	541	444
受取配当金	39	40
受取賃貸料	73	72
為替差益	114	51
その他	355	269
営業外収益合計	1,124	877
支払利息	213	386
賃貸費用	44	39
持分法による投資損失	395	99
その他	48	25
営業外費用合計	701	551

特別損益	2025年3月期	2026年3月期
固定資産売却益	65	45
投資有価証券売却益	-	22
受取保険金	-	99
子会社における送金詐欺回収益	8	-
リース解約益	18	0
退職給付制度改定益	-	394
段階取得に係る差益	-	121
特別利益合計	92	682
固定資産売却損	13	15
固定資産除却損	177	75
減損損失	-	40
投資有価証券評価損	0	1
特別損失合計	191	133

(単位：百万円)

2025年3月末

2026年3月末

増減額

【主要な日本円への換算レート】

	2025年3月末	2026年3月末	増減額
総資産	153,936	164,848	+10,912
純資産	105,855	113,514	+7,658
ネット有利子負債	6,686	7,748	+1,062
自己資本	101,035	108,630	+7,594
ネットD/Eレシオ	0.06	0.07	+0.01ポイント
自己資本比率	65.6%	65.9%	+0.3ポイント
1株当たり純資産	3,855円23銭	4,145円07銭	+289円84銭

	2025年3月末	2026年3月末
円/USD	158	157
円/EUR	165	184
円/RMB	22	22

# 貸借対照表

(単位：百万円)

		2025年3月末	2026年3月末	増減額
資産の部	流動資産	78,694	81,938	+3,244
	固定資産	75,241	82,909	+7,667
資産合計		153,936	164,848	+10,912
負債の部	流動負債	33,993	36,901	+2,908
	固定負債	14,087	14,432	+344
	負債合計	48,080	51,334	+3,253
純資産の部	株主資本	88,656	93,146	+4,490
	その他包括利益累計額	12,378	15,483	+3,104
	非支配株主持分	4,820	4,884	+64
	純資産合計	105,855	113,514	+7,658
負債純資産合計		153,936	164,848	+10,912

(単位：百万円)

		2025年3月末	2026年3月末	増減額
株主資本	資本金	10,128	10,128	-
	資本剰余金	13,405	13,390	△14
	利益剰余金	72,492	69,627	△2,864
	自己株式	△7,370	△0	+7,370
	合計	88,656	93,146	+4,490
その他の包括利益累計額	その他有価証券評価差額金	496	499	+3
	為替換算調整勘定	11,409	14,077	+2,668
	退職給付に係る調整累計額	472	905	+433
	合計	12,378	15,483	+3,104
非支配株主持分		4,820	4,884	+64
純資産合計		105,855	113,514	+7,658

＜予想に関する注意事項＞

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

*Deliver with*  
**WOW!**

私たちは、真のグローバルサプライヤーとして、顧客と消費者に感動を、  
株主と地域社会に満足をお届けし、社員一人ひとりがワクワク感を持って仕事をすることで  
社会から必要とされる企業を目指してまいります。

